

二葉特別支援学校いじめ防止基本方針

二葉特別支援学校（以下、本校とする）は、「いじめ防止対策推進法」に基づき、いじめ防止等のための対策に関する基本的な方針を以下のとおり定める。

1 いじめの定義と本校の基本認識

いじめとは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している当該児童生徒と一定の人間関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行うものを含む）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」とする。（平成25年 文部科学省 「いじめ防止対策推進法」）

上記の考え方のもと、本校では「いじめは、どの学校でも起こりうるものである。」

という基本認識をもち、以下の基本姿勢でいじめ防止に努める。

- (1) 本校では、児童生徒の心身の健全な発達を図り、児童生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、いじめ防止のための適切な対策を講ずる。
- (2) 本校教職員は、いじめの未然防止に全力で取り組むとともに、いじめの兆候や発生を見逃さず、いじめを把握した際は、保護者、地域及び関係機関等と連携し、速やかに、組織的に対応する。

2 校内組織

本校は「いじめ対策委員会」を設置し、いじめの未然防止、早期発見及び早期対応等を、組織的かつ実効的に行う。構成員は以下の通りとする。

- (1) 委員長 校長
- (2) 委員 教頭、小学部主事、中学部主事、生徒指導主事、生徒指導部員、養護教諭、必要に応じて該当児童生徒の担任

3 いじめの未然防止、早期発見、早期対応に関する具体的方策

別表のとおり、いじめの未然防止、早期発見対応等に係る児童生徒への指導と具体的取組を行う。

4 教育委員会及所轄警察署等との連携

- (1) いじめが犯罪行為として取り扱われるべきものと認められる場合は、所轄警察署と相談して対処する。
- (2) いじめにより児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じる恐れがあると認められる場合は、直ちに所轄警察署等に通報し、支援を求めるとともに、速やかに県教育委員会に報告する。

5 保護者との連携

いじめが確認された場合は、保護者に事実関係を伝え、いじめを受けた児童生徒とその保護者に対する支援やいじめを行った児童生徒の保護者に対する助言等を行う。また、当該いじめ事案に関する情報は、継続的かつ適切に保護者に提供する。

6 重大事態への対処

以下に掲げる事態（以下「重大事態」という。）が発生した場合は、速やかに県教育委員会に報告するとともに、県教育委員会又は学校の下に組織を設け、公平・中立な調査等を行い、事実関係を明らかにするよう努める。

- (1) いじめにより児童生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いあると認めるとき。
- (2) いじめにより児童生徒が相当の期間※学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

※相当の期間とは、年間30日を目安とするが、児童生徒が一定期間、連続して欠席しているような場合は、上記目安に関わらず迅速に対処する。

7 その他の留意事項

いじめ防止等のための対策については、取組内容を定期的に点検し、改善に努める。